

全身麻酔の際に遠位橈骨動脈カテーテルを留置された経験のある  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター麻酔科では、全身麻酔の際に遠位橈骨動脈カテーテルを留置された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施しております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

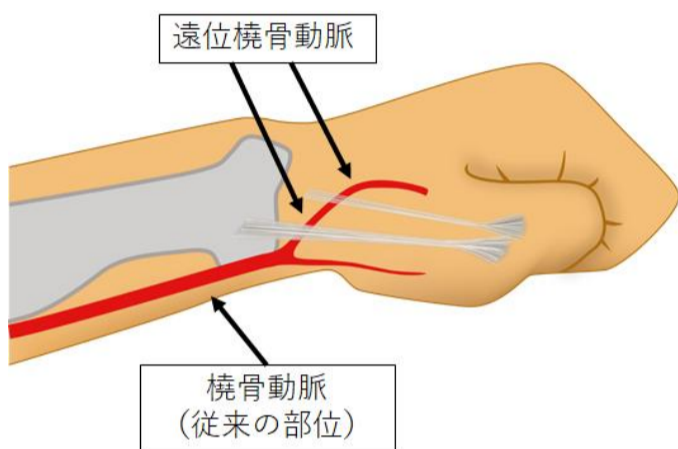
【研究課題名】

遠位橈骨動脈への動脈カテーテル留置の有効性

【研究の目的】

手術中の経時的な血圧モニタリングや採血のために、必要に応じて動脈にカテーテルを留置しますが、留置する動脈として橈骨動脈が選択されることがほとんどです。橈骨動脈には近位橈骨動脈と遠位橈骨動脈とが存在しますが、慣例的に近位橈骨動脈が選択されることがほとんどです。近位橈骨動脈にカテーテルを留置した際に起こる合併症（血腫等）の頻度は15%程度との報告があります。近年、心臓カテーテル治療の際に遠位橈骨動脈にカテーテルを留置することで合併症を減らせるとの報告が、全身麻酔の血圧モニタリングにおける遠位橈骨動脈の安全性についてはまだ評価されていません。

今回の研究の目的は全身麻酔で手術を受ける際に遠位橈骨動脈にカテーテル留置をして術中動脈圧モニタリングを施行された患者さんのカルテを使用して、血腫や神経障害、血流障害などの副作用の頻度を調査し、動脈血圧モニタリングへの安全性を検討することです。



【対象となる方】

2024年8月18日から2024年12月27日の間に、遠位橈骨動脈にカテーテルを留置して全身麻酔で手術を受けた方された方。

【使用する診療情報】

身長、体重、年齢、性別、合併症（血腫、神経障害、血流障害）の有無、穿刺回数、穿刺部位の変更、採血不良の有無、動脈圧波形描出の有無

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長の許可日（2025年1月24日）から2025年9月30日まで実施され、100名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで仮名化されたのち解析を行います。

【データの保管】

この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないように厳重保管され、研究の中止あるいは終了後5年または最終公表3年のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。本研究で得られた患者様の情報は他の目的に使用しません。また、研究過程で閲覧した個人情報は、第三者に漏洩することがないように厳重に注意し、研究結果を公表する際には、被験者を特定できる内容を含まないようにします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は臨床麻酔学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 麻酔科 浅井隆（教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 麻酔科 担当者：増井 克秀（病院助教）

電話番号：048-965-4948（医局直通） 平日：9:00～17:00

以上